

E8aおよびE8エミュレータソフトウェアご使用上のお願い

E8aおよびE8エミュレータソフトウェアの使用上の注意事項を連絡します。

- データフラッシュ領域とプログラムROMまたはプログラムROM2領域をまたぐプログラムのダウンロードやメモリ操作をする際の注意

1. 該当製品

- (1) R8C E8aエミュレータデバッグ V.1.03.00以降
- (2) M16C E8aエミュレータデバッグ V.1.01.00以降
- (3) M16C E8エミュレータデバッグ V.2.03.00以降

エミュレータデバッグのバージョン確認方法：

統合開発環境High-performance Embedded Workshopのメニュー「ツール」
->「アドミニストレーション」を選択してツールアドミニストレーション
ダイアログボックスを開く。「登録済コンポーネント」リストビューに
表示されている「Debugger Components」フォルダ内の「***** SYSTEM」
のバージョン表示欄を確認する。

***** には各エミュレータデバッグ名が入ります。

2. 内容

以下の領域をまたぐプログラムのダウンロードやメモリ操作 (Set, Fillおよび Move)でプログラムROMまたはプログラムROM2領域にデータが書き込まれない場合があります。

R8C E8aエミュレータデバッグの場合：

データフラッシュ領域とプログラムROM領域

M16C E8aエミュレータデバッグ および M16C E8エミュレータデバッグの場合：

データフラッシュ領域とプログラムROM2領域

3. 発生条件

3.1 R8C E8aエミュレータデバッグの場合

その1：

以下の条件をすべて満たす場合に発生します。

- (1) デバッガ起動時に開くエミュレータ設定ダイアログボックスで、「フラッシュメモリの書き込み」モードを選択している。
- (2) 書き込み対象のMCUとして以下のいずれかを選択している。
 - R8C/3xシリーズのプログラムROM 48Kバイト以上 かつ
データフラッシュ 4Kバイト のMCU
 - R8C/LxシリーズのプログラムROM 48Kバイト以上 かつ
データフラッシュ 4Kバイト のMCU

その2：

以下の条件をすべて満たす場合に発生します。

- (1) デバッガ起動時に開くエミュレータ設定ダイアログボックスで、「フラッシュメモリの書き込み」モード以外を選択している。
- (2) データフラッシュのブロックA領域 またはブロックB領域にファームウェアを配置している。
- (3) デバッグ対象として
R8C/3xシリーズのプログラムROM 128Kバイト かつデータフラッシュ 4Kバイト のMCUを選択している。

3.2 M16C E8aエミュレータデバッガの場合

以下の条件をすべて満たす場合に発生します。

- (1) デバッガ起動時に開くエミュレータ設定ダイアログボックスで、「フラッシュメモリの書き込み」モードを選択している。
- (2) 書き込み対象のMCUとして以下のいずれかを選択している。
 - M16C/5xシリーズ MCU
 - M16C/6xシリーズMCU ただしプログラムROM2領域を持たないMCUは除く

3.3 M16C E8エミュレータデバッガの場合

以下の条件をすべて満たす場合に発生します。

- (1) デバッガ起動時に開くエミュレータ設定ダイアログボックスで、「フラッシュメモリの書き込み」モードを選択している。
- (2) 書き込み対象のMCUとして、M16C/64グループ MCUを選択している。

4. 回避策

以下のいずれかの方法で回避してください。

- (1) フラッシュ開発ツールキット (Flash Development Toolkit) を使用して、プログラムを書き込む。
- (2) R8C E8aエミュレータデバッガでデバッグを行う場合のみ以下の方法も可能です。
データフラッシュ領域のブロックC または、プログラムROM領域にファームウェアを配置する。

5. 恒久対策

E8aエミュレータソフトウェアは、次期バージョンで改修する予定です。

E8エミュレータソフトウェアの改修予定はありません。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.